



学校だより

伸びゆく子

令和 7 年 5 月 30 日
横浜市立中沢小学校
6 月 号

挨拶で一日のスタートを

学校長 川又美貴子

さわやかな五月の風の心地よさを感じている間に、時折蒸し暑い日がやってきて、早くも夏の訪れを感じるようになりました。体が暑さに慣れていないこの時期は、思っている以上に集中力がそがれ、疲れもたまるように感じます。本格的な猛暑がやってくる前に、少しずつ汗をかくて元気に夏を乗り越えるようにしたいものです。

さて、5月の朝会で子どもたちに挨拶について話をしました。挨拶には「今日もよろしくね。」「私は元気ですよ、あなたはどうか。」「私は敵ではありません。」など様々な意味があります。私は毎朝正門に立ち、「変わったところはないかな。」「今日も元気かな。」とできるだけ一人ひとりの目を見ながら挨拶をしています。大きな声で挨拶する子、小さな声で挨拶する子、会釈をする子などその反応は様々です。中には、友だちとの会話に夢中になっていて気づかずに通り過ぎていく子もいます。朝会ではそうした挨拶の意味と共に、「校長先生は自分からみんなに挨拶するけれど、無視されているみたいなのはやっぱり寂しいです。」と話をしました。すると次の日から、今まで目を合わさずに通り過ぎていた子がじっと目を見て挨拶してくれたり、声を出して挨拶してくれたりするようになりました。「ああ、きちんと話を聞いてくれていたのだな。」「『校長先生の気持ちに応えたい。』と思ってくれたのかな。」と、とても嬉しくなりました。

話を聞いて、すぐに自分の行動を変容させていくことは簡単なことではありません。習慣化しているものと尚更です。でも、相手の思いを知り、自分自身が「それなら自分はこうしたいな。」と思ったことを意識して行動につなげようとするのは、成長していく上でとても大切な考え方だと思います。中沢小の子どもたちは、こうして聞いた話を素直に受け止め、自分の行動に生かしていく力があるのだな、と感じました。

朝から元気な挨拶を聞くと、こちらでも元気をもらえます。ぜひご家庭でも「おはよう。」「いってらっしゃい。」など目を見て声をかけ、送り出してあげてください。その一声が、子どもたちが元気に一日をスタートするためのエネルギー源になると思います。



PTA 環境委員の皆さんが植えてくださったお花